


「写真の達人」新機能説明

Ver6.0.8

2012年11月
 株式会社ラインテック

「写真の達人」新機能の紹介 ー目次ー

番号	内 容	備 考(バージョンアップ理由)	ページ
「写真の達人」			
1	新しい電子納品要領(案)に対応		P1
2	工事情報(INDEX_C.XML)も出力できる電子納品要領(案)を追加		P1
3	「現場選択」「工区選択」「アルバムを開く」のボタン追加(ヘッダ部分)	操作性の向上の改善	P2
4	現場の選択時にデータベースを自動で修復・最適化	WindowsのOSが異なるパソコンで現場共有した場合の問題を解決するため	P2
5	登録済み「アルバム」を別名で保存する機能を追加	アルバム利用の利便性を向上させるため	P3
6	編集したレイアウトを保存できる ・編集したレイアウト情報を現場フォルダへ保存可能(他現場への保存) ・現場フォルダからレイアウト情報を取り込み可能(選択中現場からの取込)	アルバムの表示状態を編集したものを他アルバムや他現場で利用できるようにするため	P4
7	アルバムのネットワーク共有 ・現場フォルダをネットワーク利用している場合に編集していないアルバムを利用可能	現場共有時にアルバムの複数ユーザで利用にするため	P7
8	アルバム種の拡張機能 ・既存のアルバム以外の種類を取り込むことを可能	既存のアルバム種以外の利用ができるようにするため	P8
9	写真情報ダイアログの写真表示変更(拡大/縮小) ・写真情報ダイアログの写真を表示スライダーで拡大/縮小を可能	操作性の向上の改善	P9
10	スライドショー画面の拡張 ・スライドショーのヘッダ一部をON/OFFを可能 ・スライドショー画面で青/黄/赤の属性が指定可能 ・スライドショー画面で選択有無を指定可能	スライドショー画面の利便性を向上させるため	P10
「配筋図面切出しツール」			
11	画面の拡大/縮小をマウスホイール操作 ・画面の拡大/縮小をマウスホイールで操作可能	現行の操作性の問題を解決するため	P13
12	モード切り替えを右クリックで変更可能 ・画像上で右クリックすると変更メニューが表示され、モードを切り替えることが可能	編集操作するマウス移動を軽減させるため	P14
13	その他の機能拡張 ①自由切り出しの連続出力 ②出力数のカウント表示 ③部材種指定の拡張表示	操作性の向上の改善	P15

1 新しい電子納品要領(案)に対応

以下の電子納品要領(案)に対応しました。

- 日本下水道事業団（平成24年版）
- 日本高速道路（平成24年7月版）
- 農林水産省（平成23年3月版）

2 工事情報 (INDEX_C.XML) も出力できる電子納品要領(案)を追加

電子納品出力に工事情報 (INDEX_C.XML) も出力出来る要領(案)が追加されました。

- 国土交通省（平成22年9月版）
- 農林水産省（平成23年3月版）

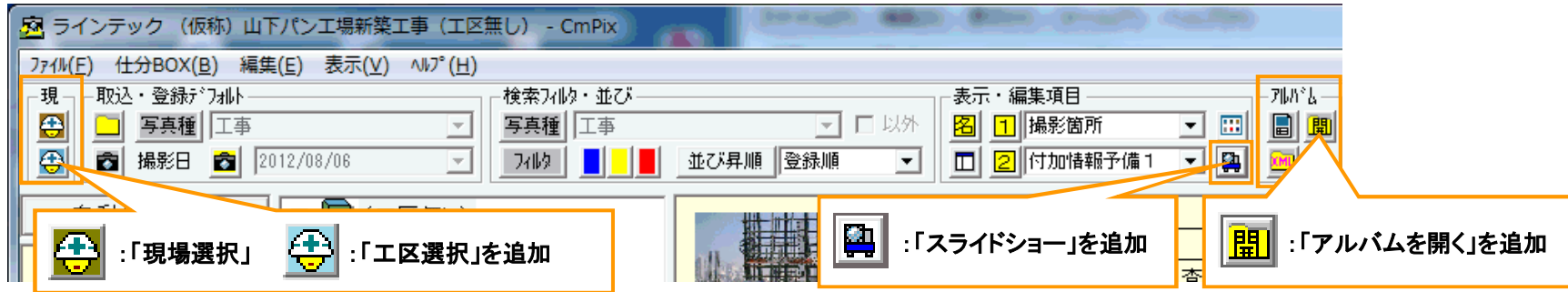
このバージョンで工事情報が出力できる要領案は以下のとおりとなります。

- 国土交通省（平成22年9月版）
- 農林水産省（平成23年3月版）
- 日本下水道事業団（平成24年版）
- 日本下水道事業団（平成21年6月版）
- 日本下水道事業団（平成20年4月版）
- 日本下水道事業団（平成19年8月版）
- 日本下水道事業団（平成18年6月版）
- 日本高速道路（平成24年7月版）
- 日本高速道路（平成18年7月版）

追加

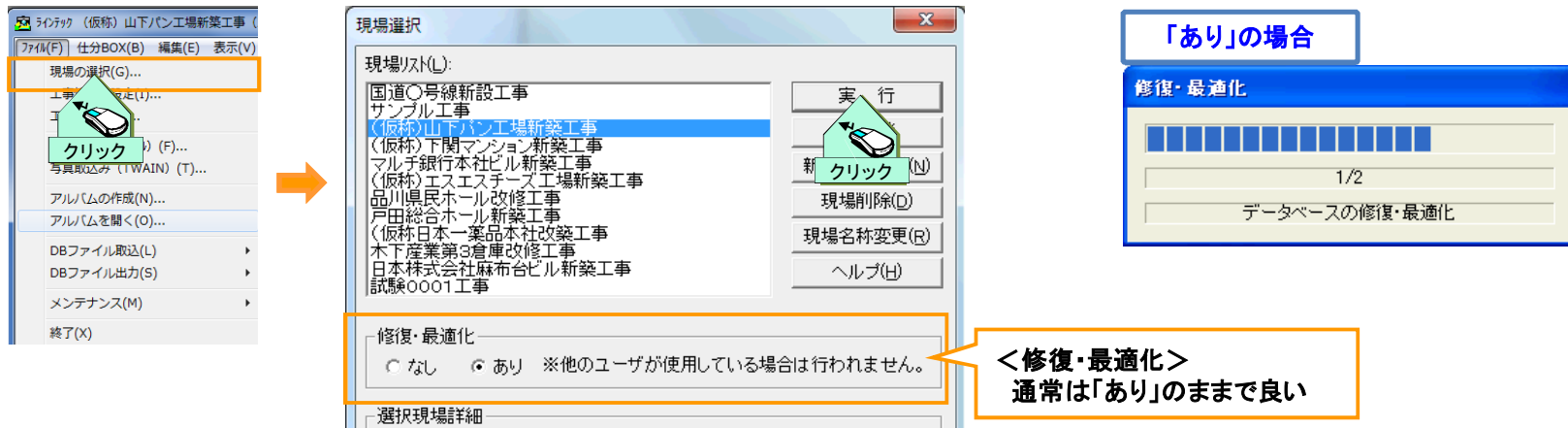
3 「現場選択」「工区選択」「アルバムを開く」のボタン追加(ヘッダ部分)

現場選択・工区選択・スライドショー・アルバムを開くボタンを追加しました。



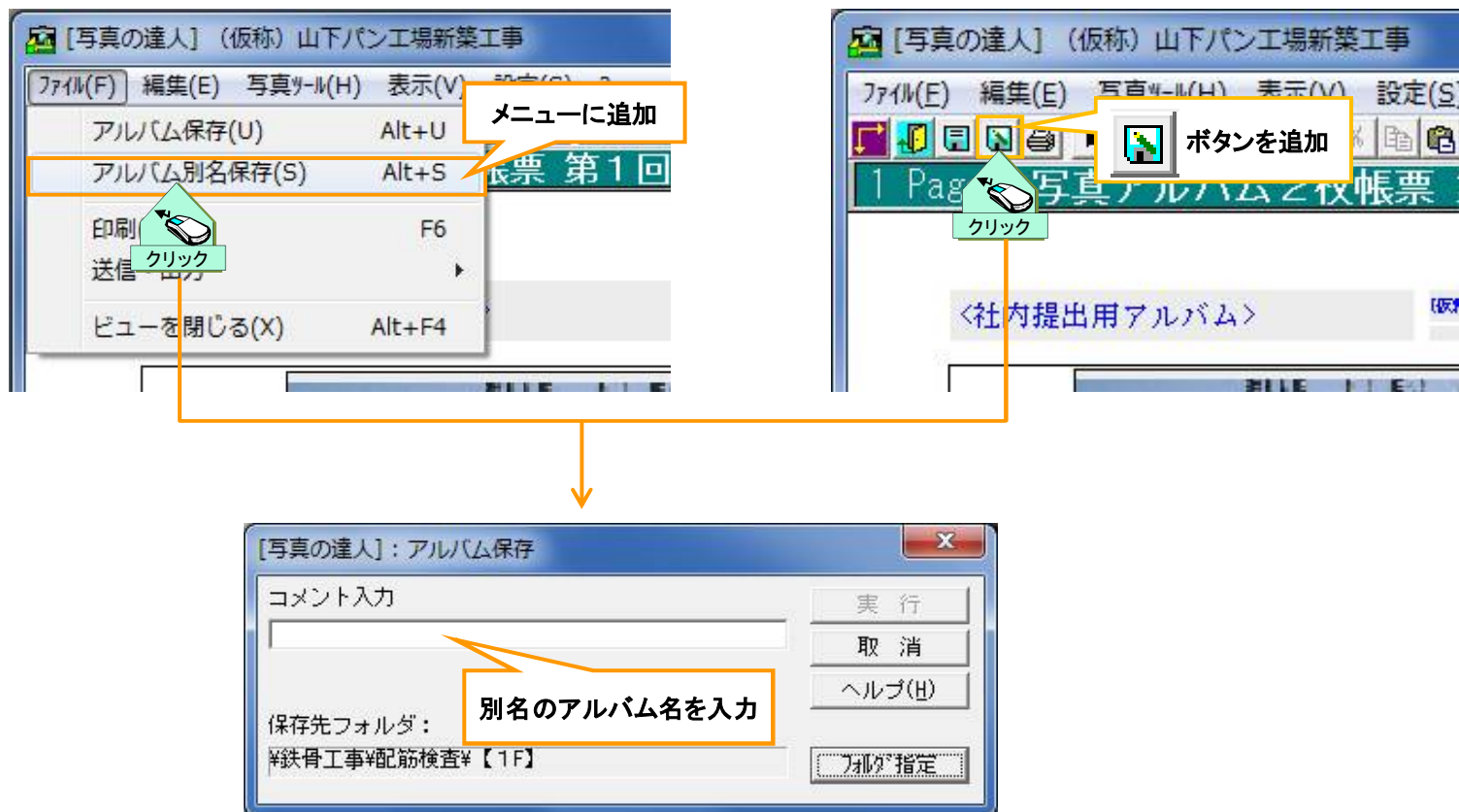
4 現場の選択時にデータベースを自動で修復・最適化

データベースは、使用していくと作業用のデータが残ります。
そのデータによりファイルが大きくなってしまうと、動作が重くなったり不安定になったりすることがあります。
それを防ぐために「データベースの修復・最適化」を行い、データベースを整理します。



5 登録済み「アルバム」の別名保存


今までは“上書き保存”のみだった「登録済みアルバム」を“別名で保存”することが出来ます。
保存済みアルバムを表示し、[ファイル(F)] → [アルバム別名保存(S)] または、「アルバム別名保存」ボタンを押します。



6 編集したアルバムレイアウトの保存・取込

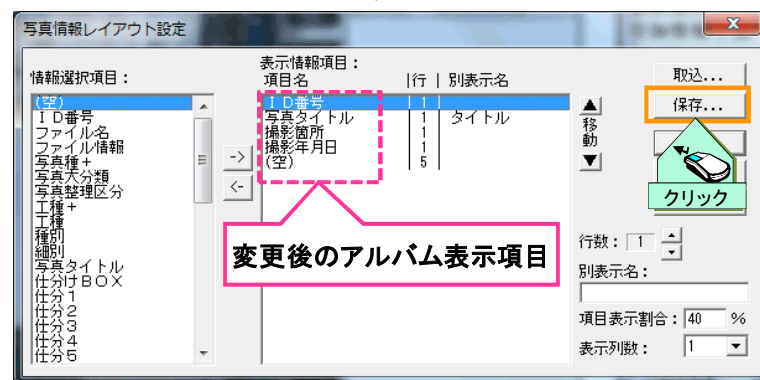
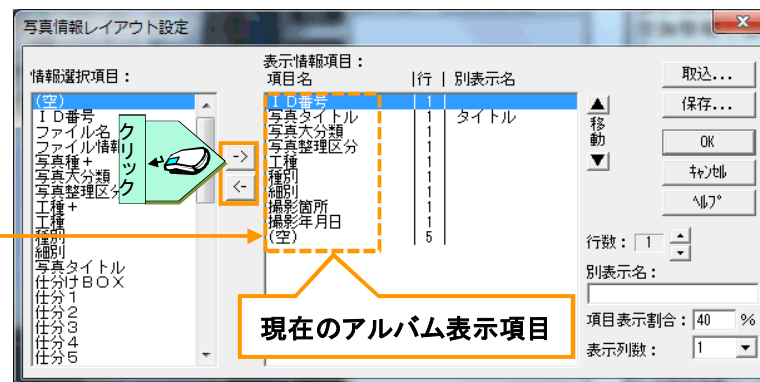
アルバムの項目表示を変更した場合、選択中現場または他現場にレイアウトを保存・取込することができます。

レイアウトの保存

①まず、アルバム画面にて「レイアウト変更」ボタンをクリックします。



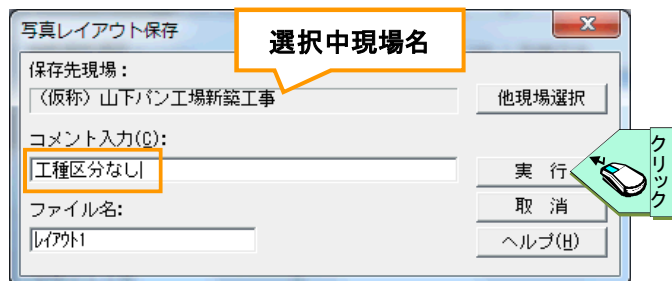
②「→」「←」矢印でアルバムに表示する項目を指定し、「保存」ボタンをクリックします。



③【写真レイアウト保存】ダイアログが表示されます。

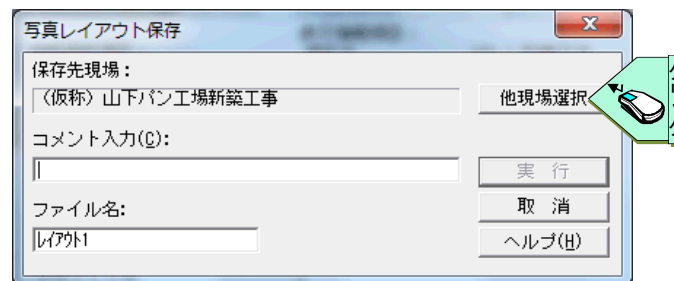
● 選択中現場に保存

1. コメントを入力して、「実行」ボタンをクリックします。

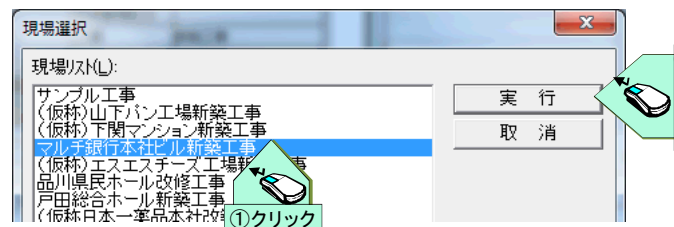


● 他現場に保存

1. 「他現場選択」ボタンをクリックします。



2. 【現場選択】ダイアログから、レイアウトを保存する現場を選択し、「実行」ボタンをクリックします。

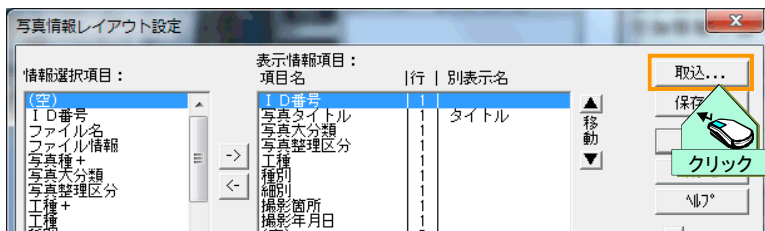


3. 保存先現場に選択した現場が表示されます。
コメントを入力して、「実行」ボタンをクリックします。



レイアウトの取込

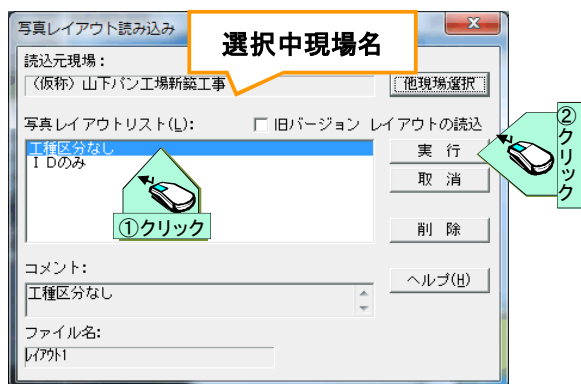
① 「取込」 ボタンをクリックします。



② 【写真レイアウト読み込み】ダイアログが表示されます。

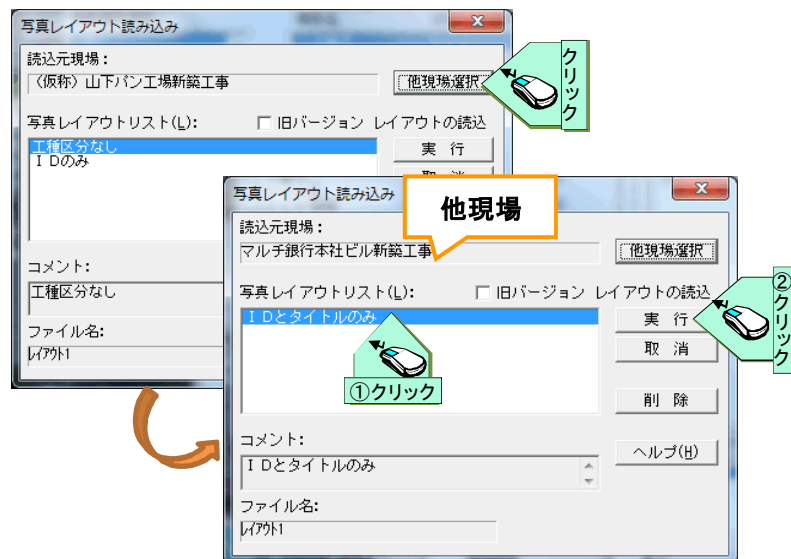
● 選択中現場の保存済レイアウトから取込

1. 写真レイアウトリストからレイアウトを選択し、「実行」ボタンをクリックします。



● 他現場の保存済レイアウトから取込

1. 「他現場選択」ボタンをクリックします。
【現場選択】ダイアログから、レイアウト取込現場を指定し、写真レイアウトリストからレイアウトを選択後、「実行」ボタンをクリックします。



7 アルバムのネットワーク共有

現場フォルダをネットワーク共有している場合、他ユーザが編集していないアルバムの利用が可能となりました。

①クリック

他のパソコンで使用

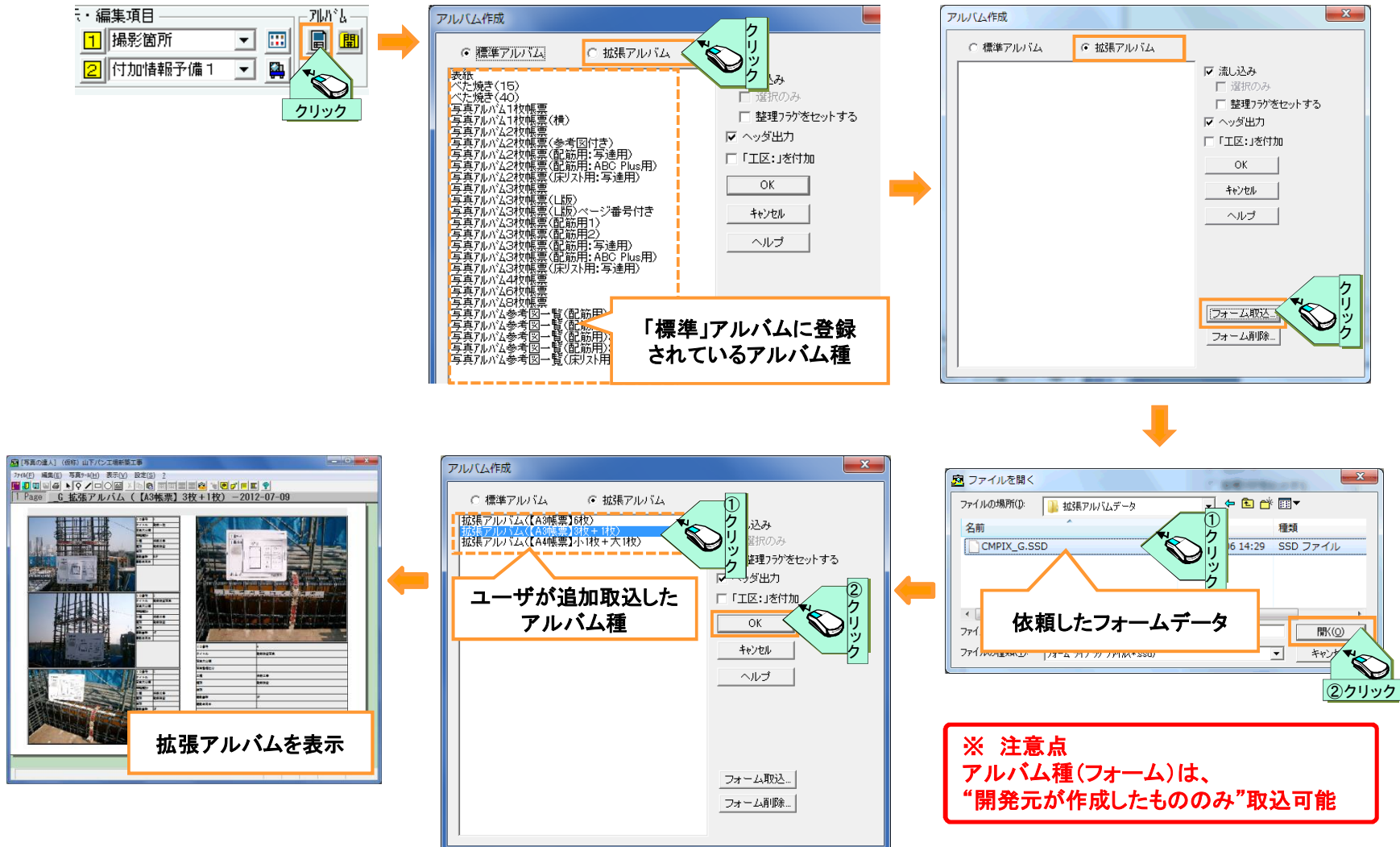
②クリック

他のパソコンで使用中のアルバムは..

使用中のアルバムは「アルバムを開く(読み取り専用)」「アルバムの印刷」以外 利用不可

8 アルバム種の拡張機能

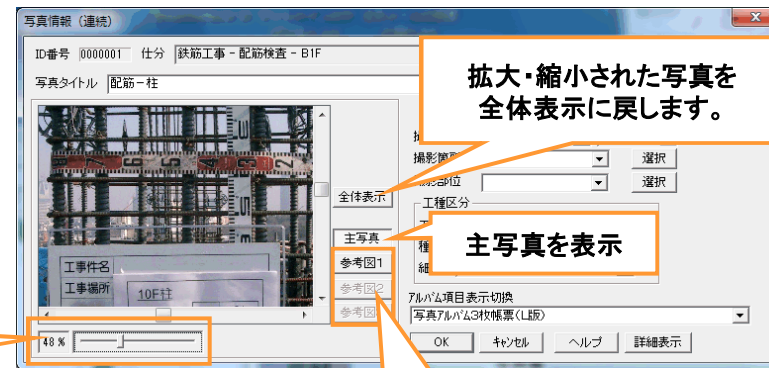
「標準アルバム」に登録されているアルバム種以外のフォームを、開発元に作成依頼することが出来ます。（有償）
作成されたフォームは「拡張アルバム」と呼ばれ、フォーム取込を行うことで「拡張アルバム」リストに表示され利用できます。



9

写真情報ダイアログの写真表示変更(拡大/縮小)

写真情報ダイアログの写真をスライダーで拡大/縮小を可能にしました。



拡大・縮小された写真を
全体表示に戻します。

主写真を表示

スライダーで拡大/縮小

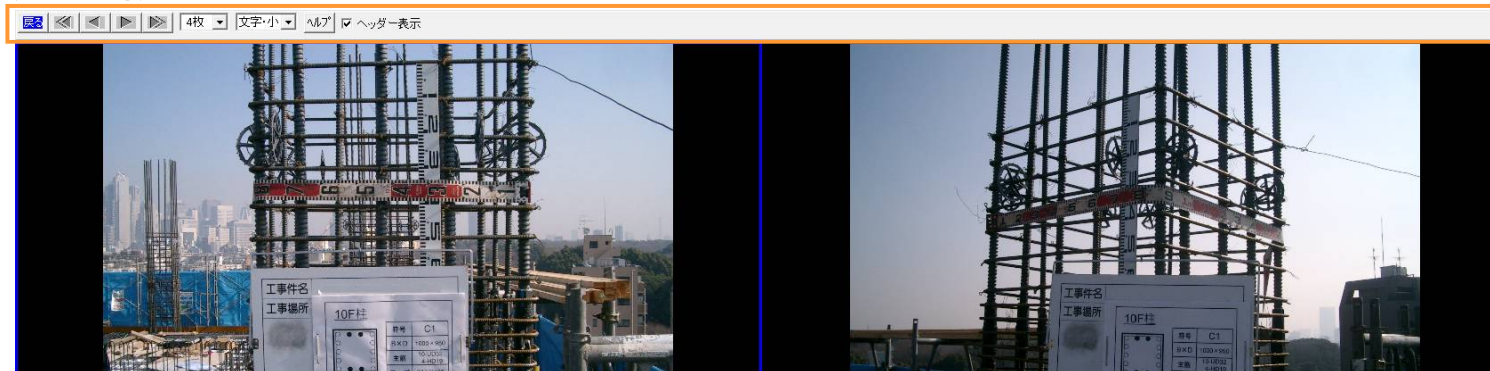
参考図を表示

10 スライドショー画面の拡張

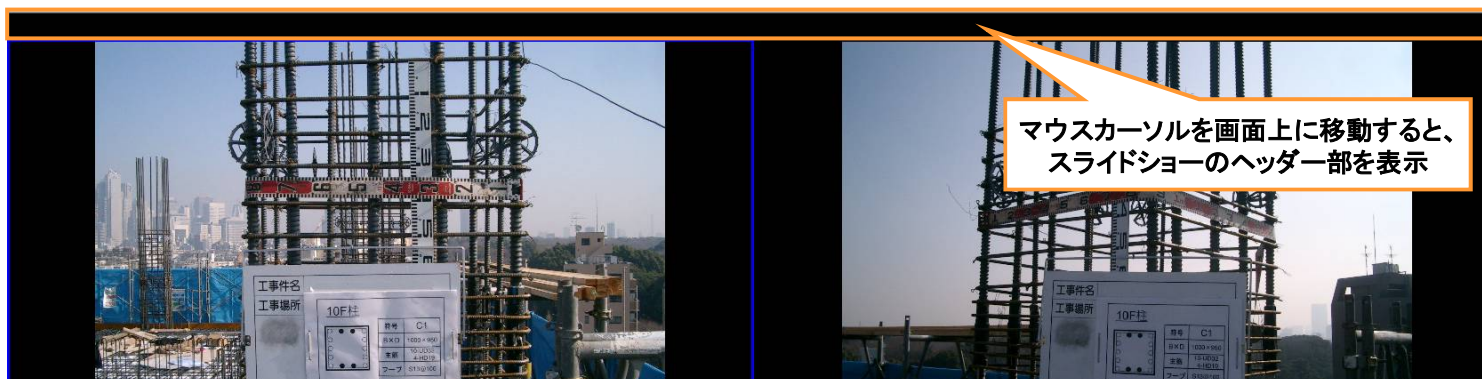
- スライドショーのヘッダー部のON/OFFを可能に



(ONの時)



(OFFの時)



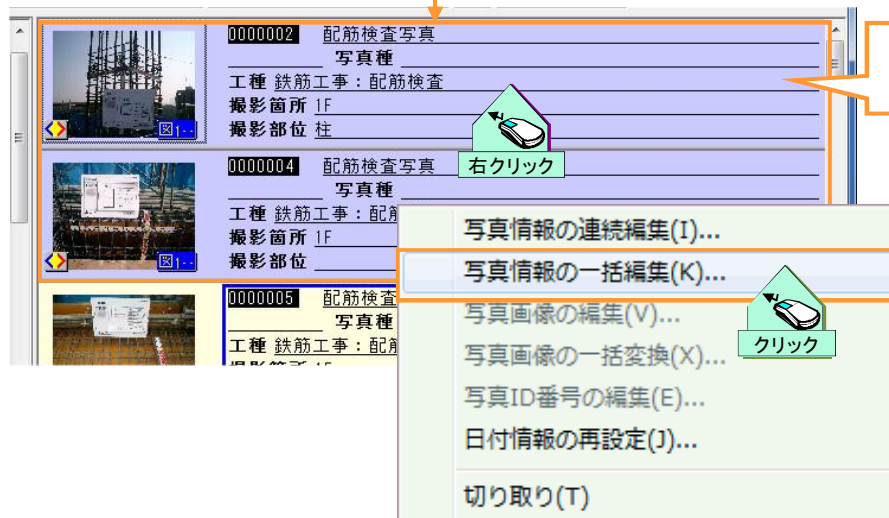
スライドショー画面で青/黄/赤の属性が指定可能

4枚 文字・小 ヘルプ ヘッダー表示

表示属性の赤/黄/青指定可能

	0000001 配筋一柱 写真種 工種 鉄筋工事：配筋検査 撮影箇所 B1F 請負者説明文
	0000002 写真種 工種 鉄筋工事：配筋検査 撮影箇所 1F 請負者説明文
	0000003 写真種 工種 鉄筋工事：配筋検査 撮影箇所 3F 請負者説明文

スライドショー画面で選択有無の指定可能



スライドショーから戻った時、チェックBOXにチェックを付けた写真は選択状態になります。



11 画面の拡大／縮小をマウスホイール操作

画面の拡大／縮小をマウスホイールで操作可能にしました。

移動

クリック

画像の開く

画像を保存

部材・切出情報を開く

部材・切出情報を保存

部材種の編集

移動 切出クリア

画像編集開始

部材切出開始

部材作成開始

図面指印

画像の拡大／縮小操作が可能

画像拡大

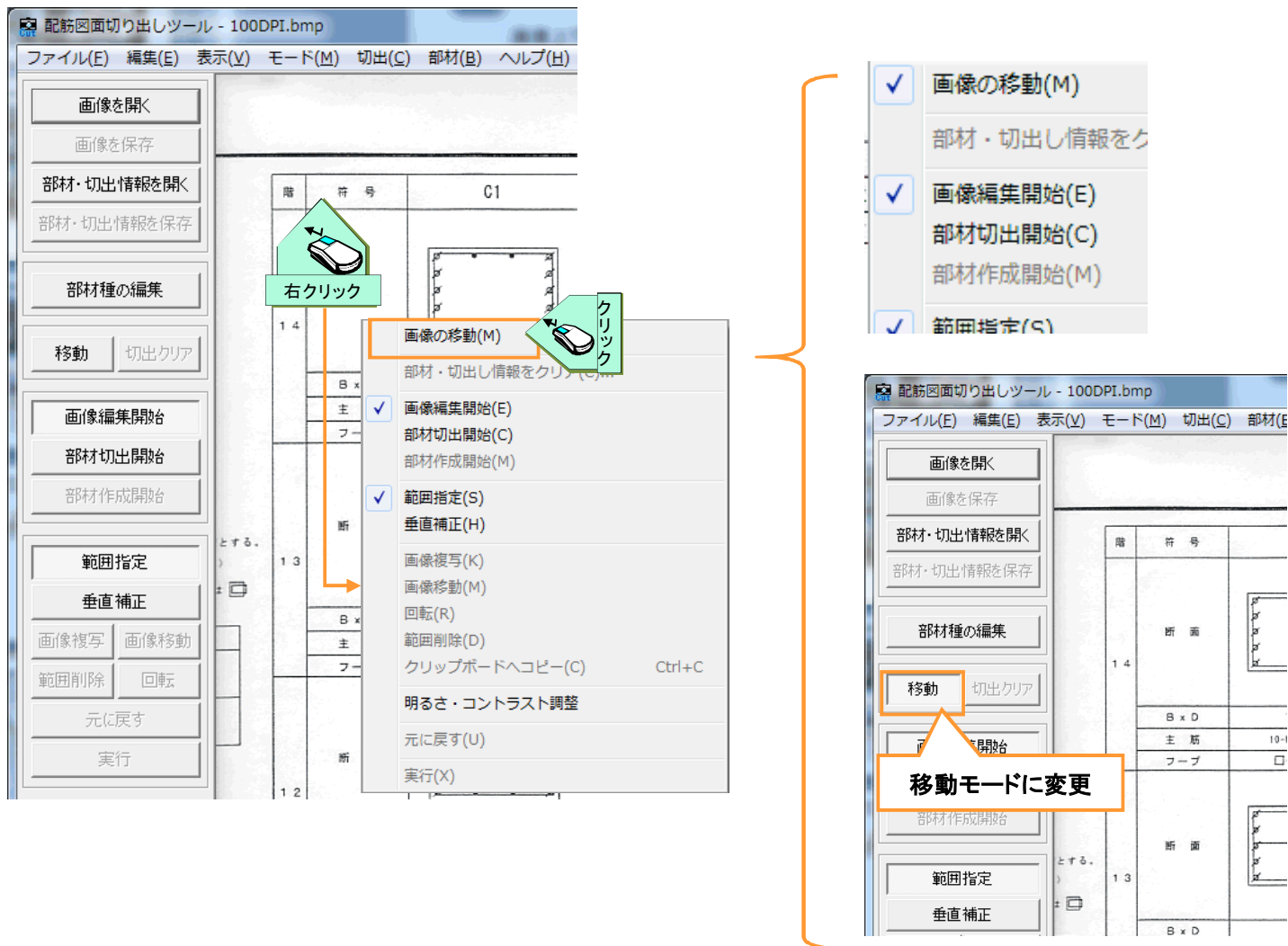
画像縮小

階	符号	
		C1
	断面	
		1150xR50

階	符号	C1	C2
	断面		
	D × D	1150x50	1150x30
	全高	12-49254-1011	12-49254-1012
	フープ	日-312 0106	日-312 0107
	断面		

12 モード切り替えを右クリックで変更可能

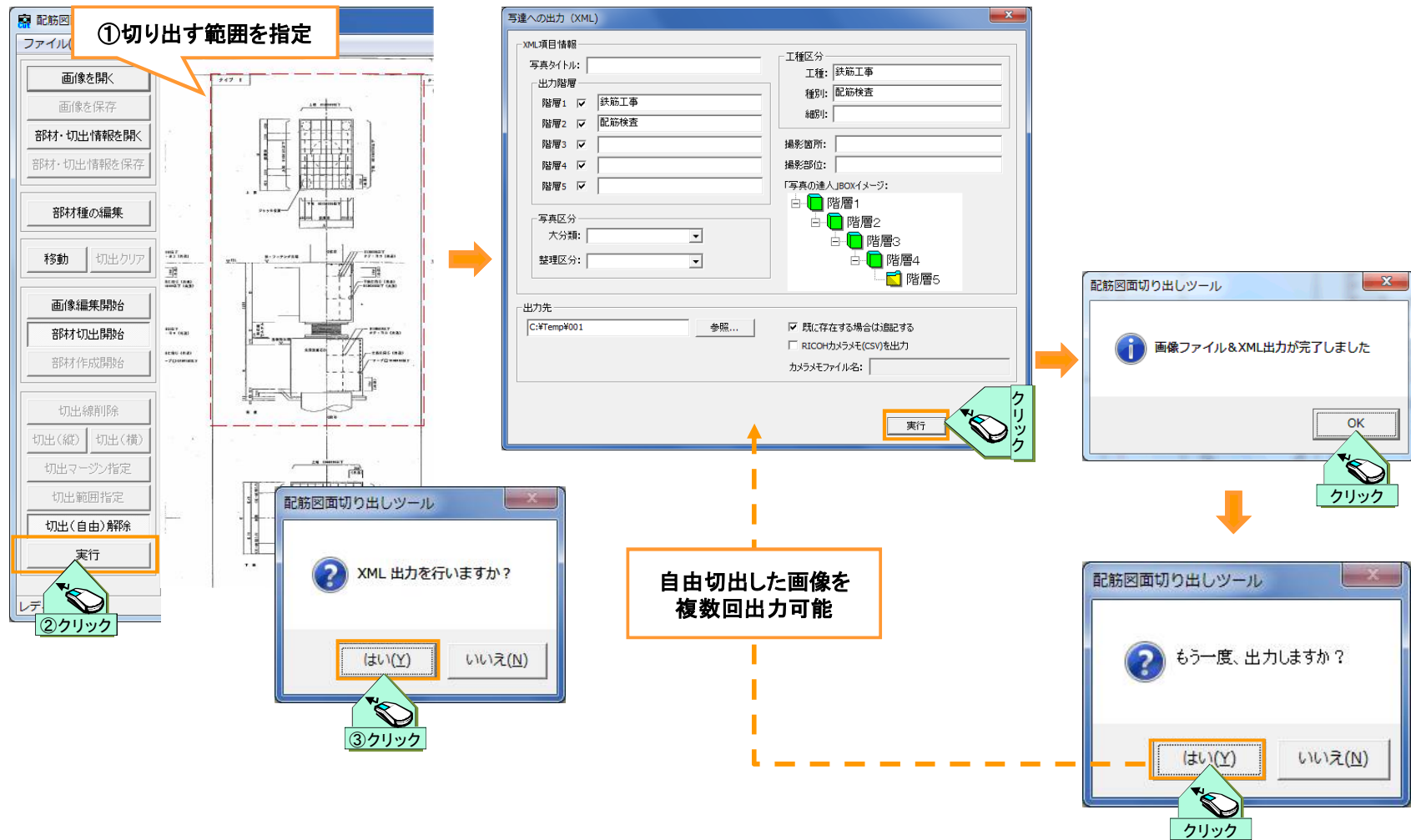
画像上で右クリックすると変更メニューが表示され、モードを切り替えることが可能になりました。



13 その他の機能拡張

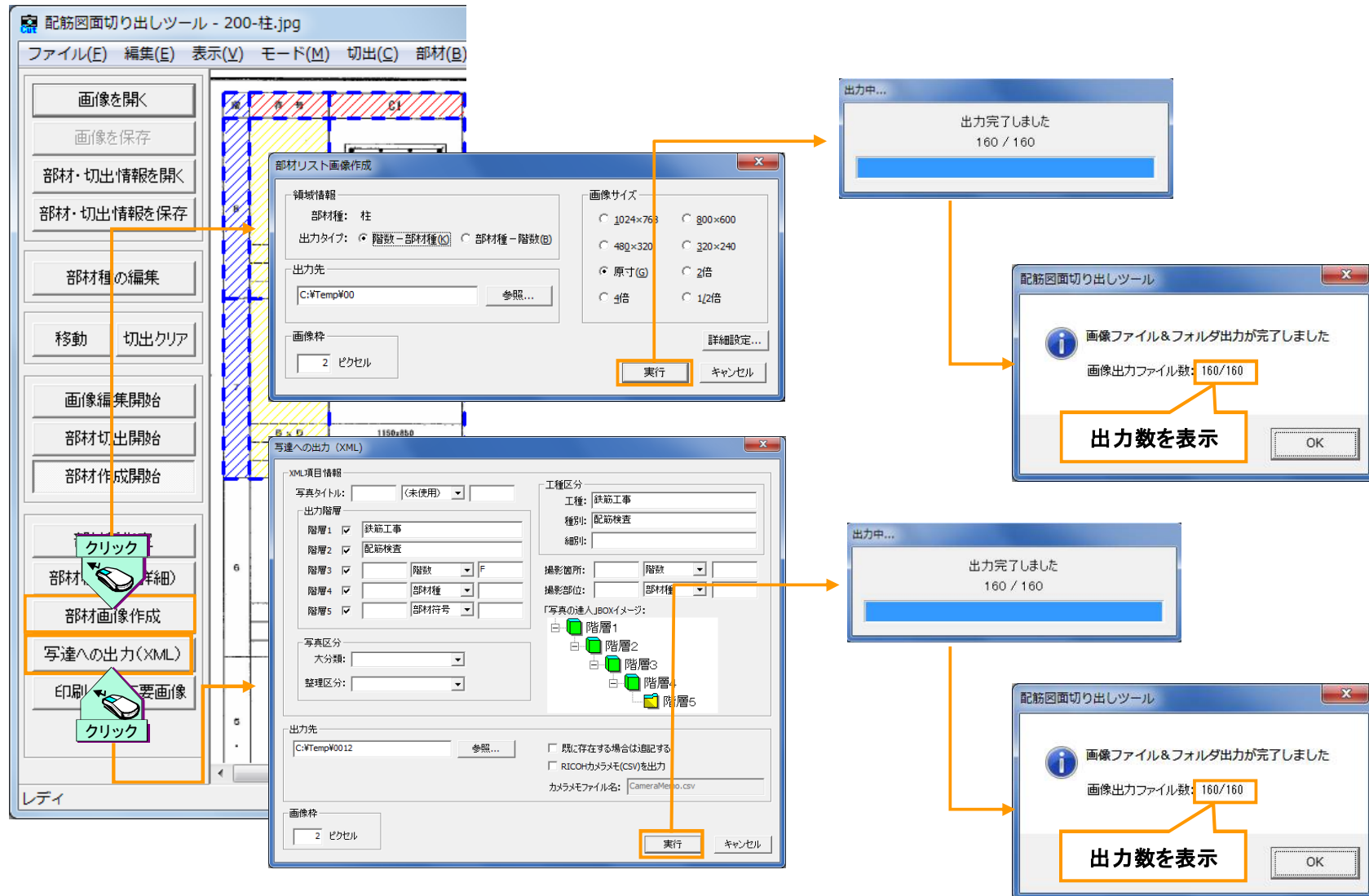
自由切り出しデータの連続出力

自由切り出した画像を連続で出力出来るようになりました。



出力数のカウント表示

部材画像の出力(部材画像作成)およびXML出力(写達への出力)の完了時に出力したファイル数を表示します。



部材種指定の拡張表示

部材種を指定する時に各部材種のプレビュー表示を追加。

The image illustrates the workflow for specifying material types in the software. The main window shows a grid with various material types. The workflow is as follows:

- 部材種指定 (Material Type Specification):** The user clicks the '部材種指定' button in the left sidebar. This opens the '部材種の設定' dialog.
- 部材種の設定 (Material Type Setting):** The user selects a material type (e.g., '柱') and chooses the orientation (縦方向 or 横方向). This dialog includes a preview of the selected material type.
- 部材種の設定(詳細) (Material Type Setting (Detailed)):** The user clicks the '部材種指定(詳細)' button in the left sidebar. This opens the '部材種の設定(詳細)' dialog, which provides more options for the material type. It also includes a preview of the selected material type.
- 部材種の登録 (Material Type Registration):** The user clicks the '部材種登録' button in the left sidebar. This opens the '部材種の登録' dialog, where the user can save the material type. It also includes a preview of the selected material type.

Callout boxes indicate that the preview in each dialog shows the content of the specified material type.